

令和6年度第2回利用者懇談会議事録

令和6年度 第2回 生涯学習センター利用者懇談会
日時： 令和7年3月27日（木） 19時00分～21時00分
場所： 東久留米市立生涯学習センター 学習室1
出席者： 利用者懇談会委員 【学識経験者】1名 【利用者代表】2名 【指定管理者】施設長、設備管理責任者 【関係行政機関職員】生涯学習課長 事務局 【指定管理者】副施設長 8名の委員の内6名が出席、過半数の出席にて会議を開催 欠席者：会長、利用者代表 開催の目的 指定管理者が管理運営を行う東久留米市立生涯学習センターの指定管理期間中の運営を適正かつ円滑に行うために、市民のご意見等を伺う場として利用者懇談会を設置する。
議題： (施設長) 「生涯学習センター利用者懇談会設置要綱」には「第3条 懇談会は、委員10人以内で構成する。」とあり、現在委員の方は合計8名。 本日は、8名中6名の委員にご出席いただき、「生涯学習センター利用者懇談会設置要綱」第6条に定める「過半数」に達していることをご報告する。 これまで同様当懇談会は原則として公開扱いとなり、事前に傍聴希望者へのご案内をHPに掲載している。傍聴希望者がいる場合は後ほど入室していただく。（→傍聴者なし） 今回の議事録については前回同様、後日委員の皆様にご確認いただいた後、センターHPで公開する。 それでは会を進めるにあたり、初めに本日用意した資料を確認させていただく。 〈配布資料〉 1. 次第 2. 資料1 令和6年度 東久留米市立生涯学習センター利用統計 3. 資料2 令和6年度 東久留米市立生涯学習生涯学習センター事業一覧【実績報告】 4. 資料3 令和6年度 施設維持管理報告【実績並びに今後の予定】 5. 資料4 令和7年度 東久留米市立生涯学習センター事業計画 6. 資料5 令和6年度 生涯学習センター利用者アンケート集計結果 7. 資料6 東久留米市立生涯学習センター利用者懇談会委員名簿 1. 開会（進行役 施設長） それでは次第に沿って進めさせていただく。次第の1～4までの進行を私のほうで務めさせていただく。 2. 市担当者紹介（生涯学習課より自己紹介と挨拶） 3. 設備管理者、事務局紹介（設備管理責任者、副施設長より自己紹介と挨拶） 4. 副会長挨拶 生涯学習センターの事業というのは、参加している方の生きがい、やりがいに繋がっていると同時に人を結び付ける重要な役割を果たしている。今後も利用者懇談会の意見を生かして、どんどん発展させていっていただければと願っている。どうぞよろしく願いたい。

5. 報告（進行役 副会長）

次第に沿って、令和6年度事業実績「運営・自主事業」に関して施設長より、「施設維持管理報告」を設備管理責任者に報告をお願いする。

（施設長）

【資料1】令和6年度 東久留米市立生涯学習センター利用統計**「1. 生涯学習センター利用者実績」**

本年度は、全体的な利用総数としては2月末までで、前年比で、利用件数97%、利用人数で87%、2018年対比で、利用件数87%、利用人数で78%という結果で、本年度の利用者数合計は10万5千人程度の見通しとなり、コロナ後から続いていました上昇傾向が昨年で一旦ピークを迎え落ち着いた流れとなっている。ここ数年見られたようなコロナ禍の復興ムードや、近隣施設の大規模改修工事による施設代替え需要などの特別な要素がひと段落しリセットされて、本年の数値こそがコロナ後のベースとなっていくのかと考えている。今後施設利用活性化を考える上で、改めて施設の役割や課題を見極め、次年度の運営に努めて参りたい。

「2. 午後利用者推移」

令和6年度の午後利用合計は2月までの実績で利用件数3,231件、利用人数で28,681人となっています。前年比で見ますと89%となり、他の時間帯別の利用人数で比較すると、前年対比で午前中が91%、夜間が86%という推移で、極端な偏りがみられるということでもなく、全体の傾向と同等の推移となっている。

「3. 月曜日利用者推移」

2月までの累計構成比は7.6%という状況です。
昨年と比較すると0.3%増となりますがほぼ同等の推移で進捗致した。

【資料2】令和6年度 東久留米市立生涯学習生涯学習センター事業一覧【実績報告】

<ホール事業>

（実績）

- ・まろにえ寄席宮治・わん丈二人会
- ・歌声カルテットの昭和歌謡コンサート（10/7、1/24）
- ・ミュージカル シンデレラ
- ・まろにえ★クリスマスコンサート
- ・加藤登紀子百万本のバラコンサート 2025
- ・まろにえサークルフェスタ

<アウトリーチ> 1事業（東久留米市第一小学校）

<生涯学習事業>

- ・放課後講座を9月～毎月1回の計7回
- ・スマホ講座（基本・応用）
- ・親子参加型講座2講座「おとなも子どもも三原色粘土でクリスマスケーキをつくろう」
「親子で星空を観察しよう」

<その他>

- ・夏の学習室開放
- ・冬の学習室開放
- ・まろにえサークル見学会
- ・東久留米市スポーツ健康ウィークパネル展

（設備管理責任者）

【資料3】令和6年度 施設維持管理報告【令和6年8月から令和7年3月までの修繕工事他実績】

（実績5件）

陶芸窯不具合、GHP-3 室外機冷媒漏れ、消化水槽ボールタップ交換作業、ケヤキ剪定、LED 交換作業

意見・感想

・施設利用人数について

(生涯学習課長)

生涯学習事業が非常に魅力的で、毎月注目していた。

令和6年度の事業について1点質問があり、資料1-2を見て気になった点がある。

件数と人数の関係性が令和5年度と6年度で変化がある。

例：令和5年4月午後合計 3126名 → 令和6年 2366名（18件しか減っていないのに人数は大幅減）

例：令和5年5月 253件 2291名 → 令和6年 303件 2243名（50件増なのに12名増のみ）

市内の他施設でも、一回あたりの人数減少の傾向があるのでは？

(施設長)

サークル活動は6～10名程度が多く、1～2名の増減でも影響が出る。

ホール利用時は長時間確保が多く、件数に対して人数が比例しない場合がある。

全体として人数が減っている傾向はある。利用休止、高齢化による退会、新団体の伸び悩みなどが要因。

・昭和歌謡コンサートの券種変更について

(生涯学習課長)

令和7年度のホール事業での昭和歌謡コンサートについて。

今は全席指定席にしているが、人数増を見込んでの方針か？自由席の方がよいという声もあるのでは？

(施設長)

指定席化はプロモーター側の強い要望もある。

自由席だと高齢者が1時間以上前から並び、行列ができてしまう。それを解消するために指定席に変更した。

指定席化に伴い、先行販売時に高齢者が殺到し、事故寸前の混乱が発生。

例：イーゼルを倒す、走るなどの危険行動もあり。

今後は「整理券」や「くじ引き」方式を検討。先行販売をやめるべきという意見もあり。

ただし、来場時にまとめて次回チケットを購入する利便性もある。

混乱対策として、購入順をくじでランダム化するなどの施策を予定。

・昭和歌謡コンサート終演後の先行販売方法について

(利用者代表)

抽選時にブロック分けして整理券を配布すれば混乱を減らせるのでは。

音が聞こえやすい場所など、ご年配の方のニーズに対応した配慮も必要。

自身の体験として、鼓膜が破れて聞こえにくくなったことがあり、席によって聞こえやすさに差が出る。

(副施設長)

前回、自由席から指定席へ切替後初の指定席先行販売を担当した体感としては、前方の席がいいというより、「今日の席が良かった」と思う方が次回も同じ位置を希望する。

自由席時代は接客対応が難しく、お客様が開場時間よりも早く来館する方が多く混乱も多かった。

指定席だと選択の時間がかかり、待ち時間も長くなる。

発券はアナログ対応で、デジタル化していないため効率が悪い。

今回は初めての指定席先行販売で、希望者が予想より殺到しスタッフ側対応も追いつかず、今後に向けた反省点が多かった。

・エアコン不良によるクレーム有無について

(副会長)

令和6年にエアコンの冷媒不良で使用できなかった件について。

利用者からの苦情やキャンセルはあったか？

(施設長)

•キャンセルに至る事例は少なかったが、一部影響はあった。
対応としては、部屋の変更やスポットクーラー、扇風機の設置を行った。
特に市民大学など人数が多い講座では、暑さに耐えながら受講してもらった。
修理が長引いたのは、精密検査とスケジュール調整に時間がかかったため。

(副会長)

次期に沿って、令和7年度事業計画について「運営・自主事業」に関して施設長より、
ならびに「施設維持管理報告」を設備管理責任者に報告をお願いします。

(施設長)

【資料4】令和7年度 東久留米市立生涯学習センター事業計画

次期は4期目となる。
インクルーシブ、業務効率化、施設維持管理の予防保全に力を入れていきたいと考えている。
全館イベント 1 イベント (40周年の企画としてホールでのパフォーマンス、ロビーでの出店)
ホール公演 10 公演
生涯学習事業 11 講座
その他 4 事業を予定している。

(設備管理責任者)

【資料3】令和7年度 施設維持管理計画 (案)

- (予定3件)
- ・非常用発電機各種消耗部品交換作業
 - ・電動式移動観覧席部品交換修繕
 - ・非常放送用バッテリー交換作業

意見・感想

・まろにえ祭りについて

(利用者代表)

入場者数自体は増えているが、関係者の参加が増えていて一般参加者が少ないのでは。
まろにえ祭りにおける課題として、飲食の出店数が少ないことが挙がるが、特に1階での飲食出店は、電源などの制約により実施が難しい状況がある。
キッチンカーがあると「何かやっている」という雰囲気生まれ、イベントの存在が外部にも伝わりやすく会場全体の賑わいづくりにつながるのではないか。
また、キッチンカーが来た場合には、事前にSNSなどで情報をチェックする来場者が増え、弁当を持参せずに来る人も出てくる可能性があり、来場のモチベーションにつながるのではないか。

・eスポーツについて

(利用者代表)

「eスポーツ」という名称に「スポーツ」が含まれていることで、内容が分かりにくく、何をやっているのが伝わりにくいという課題があるのでは。本来であれば、eスポーツ自体は高齢者にも有効な手段となり得るが「体を動かすスポーツ」と誤解されることで、参加へのハードルになっている可能性がある。
内容をきちんと説明し、eスポーツが持つ魅力や意義を伝える説明会のような形式があれば、関心を持つ人が増えるのではないか。ドラマ「アトムの子」では説明会に来なくても、ご年配の人こそ必要なの分かる。

・昭和歌謡コンサートについて

(施設長)

昭和歌謡コンサートは、来年度も年4回の開催を予定しており、継続実施が決定している。
参加者の満足度が高く、リピート率も高いことが特徴。お客様も固定化してきている。

講師は芸大卒の実力派で、歌唱力はもちろん、トーク力も高く、ファンとの距離が近い運営がされている。

・地域デビュー講座について

(利用者代表)

年金2000万円問題が出てからは、おとなの職業体験のようなものが必要なのでは。

地域デビュー講座は非常に良い企画だと思う。

高齢化が進む中で、電気や水道といった身近な技術や生活に役立つ知識を学べる機会があるとよい。

手先が器用な市民が多く、実用的なスキルを活かせる講座はニーズが高いのではないかとの意見があった。

初心者にとっては地域活動への参加にハードルを感じるため、まずは基本的なマナーやご近所づきあいの「基本のキ」のような講座があると安心できるのではないか。

経験差・レベル差が気になるという声もあり、初心者が一歩を踏み出しやすい場づくりが求められている。

地域の中には、かつてサークル活動を立ち上げたり、保育園・幼稚園と連携した活動経験のある人もおり、そうした人たちの知見やつながりを活かすことも検討できる。

また、SNSとの情報格差や、子育て世代への情報発信・接点づくりといった課題もあり、世代を超えた支援や仕組みが求められている。

(副会長)

地域デビュー講座のイメージがあれば教えてほしい。

(副施設長)

地域活動デビュー支援講座の具体例として、くるねつなど地域団体との連携を想定。

デジタルリテラシーや情報リスク管理の啓発も視野に。防災とも連動できる内容。

環境、防災、地域デビューのマナーなど色々な切り口で考えられる。

生涯学習センターのサークルガイドの活用や、自然保護・歴史学習などジャンル別展開も検討中。

生涯学習センター外での活動も重要と考えており、現地に出向いて学ぶことの意義を重視している。

【6. 資料5 令和6年度生涯学習センター利用者アンケート集計結果】

アンケート総数が57件(130団体にアプローチ)

両面印刷になっていたが、オモテ面だけ見て書かない方もいた 裏面は紙回答もできた

回収率が落ちた理由として、配布用紙の形式の影響も考えられるため、

次回は回答率が上がるような工夫を施していく。

意見・感想

・設備の老朽化について

(利用者代表)

音楽室だけでなく、料理室もカビ臭がする

オゾン脱臭機もだいぶ効果を感じるのでオススメ。オゾン脱臭機を検討されてみてはどうか。

(生涯学習課長)

アンケート結果を見ると、間仕切り、空調の課題が多い。

市でも主に空調関係、耐用年数を迎える前に交換を予定している。改善につながるのではと考えている。

・広報や情報発信について

(生涯学習課長)

アンケート結果では、どの媒体から情報を得ているかという設問に対し、

HP、広報の数字が高く、施設が力を入れているSNSがゼロという結果だった。

今までは紙媒体でチラシ配布や市のHPで掲載したりといったものをして頂いているが、

新たな取り組みとして市の方でも公式LINEや、今後ウォーキングアプリのリリースを予定しており、

その中で生涯学習センターの情報も掲載している。情報発信はやり易くなるのではないか。

(利用者代表)

最近皆がアプリをスマホに入れているので、アプリだとアプリ通知で情報が溢れる、見逃す。保護者へのお知らせを紙からオンラインに変えたら既読数が落ちたこともあり、逆にメールマガジンの方がこの時代埋もれないのかもしれない。官公庁のメールマガジンは見やすく工夫されていて参考になる。

6. 自由討論

意見・感想・報告

(副会長)

項目ごとに意見交換できたので、時間の関係で割愛する。

7. 事務連絡 (副施設長)

次回令和7年度第1回利用者懇談会は8月頃を予定。

8. 閉会 (副会長)

委員の皆様のご協力により本日の予定を無事終了することが出来た。これにて、令和6年度第2回利用者懇談会を散会とする。